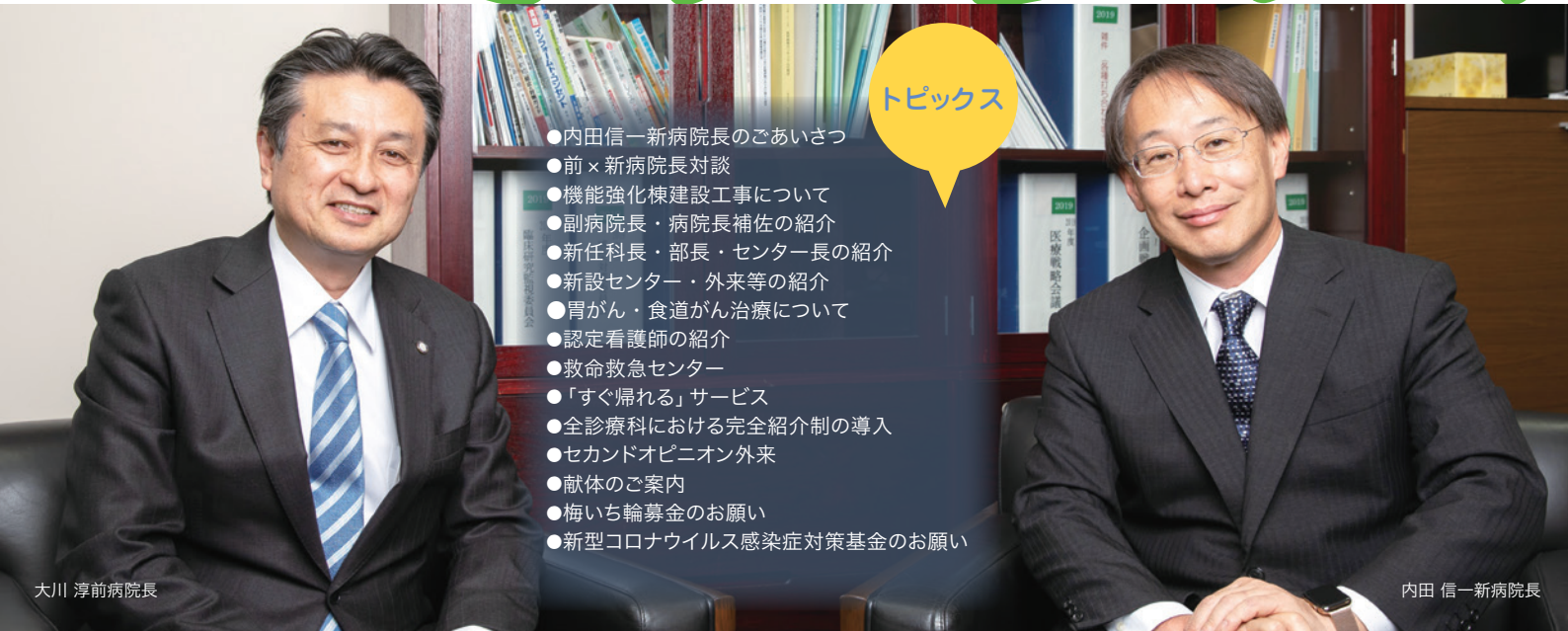


東京医科歯科大学医学部附属病院



# オアシス



トピックス

- 内田信一新病院長のごあいさつ
- 前×新病院長対談
- 機能強化棟建設工事について
- 副病院長・病院長補佐の紹介
- 新任科長・部長・センター長の紹介
- 新設センター・外来等の紹介
- 胃がん・食道がん治療について
- 認定看護師の紹介
- 救命救急センター
- 「すぐ帰れる」サービス
- 全診療科における完全紹介制の導入
- セカンドオピニオン外来
- 献体のご案内
- 梅いち輪募金のお願い
- 新型コロナウイルス感染症対策基金のお願い

大川 淳前病院長

内田 信一新病院長



MEセンターのECMO<sup>®</sup>  
(体外式膜型人工肺)



循環器内科による  
心臓カテーテル治療



ダヴィンチ(手術支援ロボット)を  
用いた泌尿器科の手術



消化器内科によるがんの内視鏡での切除



産科病棟のベビールーム



当院ヘリポートに到着した  
東京消防庁のヘリコプター



## 新病院長のごあいさつ 内田 信一

東京医科歯科大学医学部附属病院 病院長

4月から病院長を拝命しました内田信一です。専門は腎臓内科です。4年間副病院長をさせていただき、今回思いもかけず、新型コロナウイルス感染症が拡がる中で、病院長の重責を担うことになりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

当院の理念は、「安全良質な高度・先進医療を提供しつづける、社会に開かれた病院」です。「病める」方々に、心やすらぐ環境を提供しつつ、安全で優れた高度医療を、自らも開発しながら実践し続けることが、当院に求められている責務であると考えています。

この理念に基づき、当院では新型コロナウイルス患者さんの増加に応じて、まず目の前の新型コロナウイルス感染症患者さんの救命と治療を行うことを最優先と考え、診療に当たってまいりました。その間、新型コロナウイルス感染症以外の患者さんには、ご不便・ご迷惑をおかけし、大変申し訳なく思っておりました。そして現在は、社会の医療ニーズに則してコロナ医療と非コロナ医療をバランスよく提供できるよう努力しております。

当院ではさまざまな医療分野の専門技能を持つエキスパートが力を合せて診療に当たっており、「いかに治療をして患者さんを助けるか」という使命感の下で、素晴らしいチームワークが構築されています。

引き続き当院が、「病める」方々に対しての「心のオアシス」であり続けるよう、職員一同、心をこめて日々精進してまいりますので、引き続きご支援ご協力の程、よろしくお願いいたします。



## 病院長対談

大川 淳 (前病院長)

理事 (医療情報担当)・副学長 (整形外科学教授)

# 世界トップレベルのトータルめざします



大川前病院長の発案で病院2階の空きスペースを患者さん用の休憩スペースに改装。両病院長が持つイメージ図どおりに完成した



## 内田信一

東京医科歯科大学医学部附属病院 病院長  
(腎臓内科学教授)

# ヘルスケアの提供を

4月に就任した内田信一新病院長（腎臓内科学教授）と、3月まで4年間病院長を務めた大川淳理事（医療・情報担当／副学長（整形外科学教授）が病院長の役割やこれからの病院運営について対談しました。

**内田** 4年間の病院長時代を振り返って、一番努力されたことは？

**大川** 当院の特色は、他の病院では受けられない高度先進医療を提供することです。そのためには多くの患者さんに効率的に病院を活用していただけるように、病床や手術室の有効活用、そして診療科の垣根を超えたチーム医療の充実に力を注ぎました。

**内田** 都心の中心部、交通アクセスがいい反面、限られた病床を効率的に稼働させる必要があり、診療科ごとにフロアを分ける体制を見直して、全診療科による病床の有効活用を進めたことですね。

**大川** そうです。病床を全診療科で有効活用するために、一つのフロアに異なる診療科の患者さんが入院できるよう、医療スタッフの教育も行いました。

**内田** これによって異なる診療科が一丸となって病棟の診療を運営するようになりチーム医療が推進しました。それが功を奏して、新型コロナウイルス感染症対策にも生かされたと思いますが、ご苦労もありましたよね？

**大川** 病棟の医療スタッフには扱ったことのない疾患の患者さんに対する看護や診療の知識を習得してもらうことになり、負担をかけましたが、その努力が今回のコロナ対応に大いに役立ちました。国立大学病院として難病だけでなく、未知のウイルスから患者さんを守る「最後の砦」となる布石を敷くことができたと思います。

**内田** 道なき道を切り開く…という大川病院長時代の実行力は凄いと感じていましたが、今回の新型コロナウイルス感染症対応に関しても、トップの判断を具現化していく病院スタッフの結束力と問題解決能力の高さを知りました。120人が参加する朝のウェブ会議では、職員たちから次々と意見が出て議論が深まり、最終的には解決策が見えてくるという素早い意思決定能力を持つ病院に成長できました。診療科ごとの縦割り、サイロ化した組織では実現できない、情報共有、全員参加型組織の強みを発揮できたと思います。

**大川** 「目の前の患者さんを救いたい…」という職員たちの強い意志と、「力を合せて患者さんと仲間を守る」という結束力がこの病院の強みになっていると思います。さらに2022年6月に完成予定の機能強化棟の工事も進み、歯学部附属病院との一体化も少しずつ方向性が見えてきたように思います。

**内田** 「世界トップレベルのトータルヘルスケアを提供する」という目標に向かって、口腔内をはじめ全身を診ることができ、健康長寿社会に貢献する病院に成長していきたいと考えています。

**大川** 内田病院長が就任以降、心がけていることは何ですか？

**内田** 社会が混乱する中で病院長に就任しましたので、「辛いと思うときは、いつでも声を上げてください」と、職員にも患者さんにも繰り返し申し上げます。未知のウイルスとの闘いは長期戦になりそうですし、不安や悩みを一人で抱え込まないで声に出して人に伝える「勇気」を持つことが、物事をポジティブに考え、健康な心と体を維持する活力になると考えています。

## 機能強化棟建設工事について

東京医科歯科大学では、医学部附属病院と歯学部附属病院の機能を効率的に医療現場に生かすために、建築物の構造を中心にハード面での一体化と管理運営の一元化をめざして、「機能強化棟」の建設工事をスタートしました。

この工事に伴い、当院をご利用の皆様には、2022年6月の完成まで、大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。建設工事に関わる注意事項等は、病院内の掲示やホームページなどをご覧ください。建設工事期間中は、当院をご利用される皆様の安全と安心を第一に心がけてまいります。



# 副院長 病院長補佐 ご紹介

## 副院長



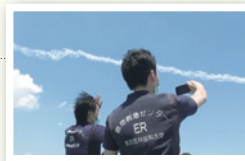
藤井 靖久 医療安全



病院入り口に咲く季節の花



小池 竜司 診療・地域連携



当院上空にもブルーインパルスが



荒井 裕国 手術・先進医療

## 病院長補佐

宮崎 泰成 診療整備・内科

堤 剛 診療整備・外科

高橋 弘充 メディカルスタッフ

藍 真澄 診療報酬

泉山 肇 医療連携・広報

小池 竜司 臨床研究

工藤 篤 安全管理・感染

伏見 清秀 医療国際化・QMC

立石 宇貴秀 BCP・危機管理

宮坂 尚幸 小児・周産期

大友 康裕 救命救急

若林 健二 集中治療

植木 穰 災害

武内 寛明 ウイルス制御

秋葉 泰樹 経営改善

浅香 えみ子 サービス・環境整備

川崎 つま子 患者相談



研修医教育のようす



感染対策も万全な陽性重症病棟



栄養バランスと味が評判の病院食



ZOOMでの退院支援サービス

# 新任科長 部長 センター長 ご紹介



## 医療安全管理部

### 工藤 篤

部長・准教授・病院長補佐



安全管理の基本は、個人を責めることではなく、合理的かつ有機的で、柔軟なシステムを作ることです。一つ一つの問題に真剣に対応することが重要であり、医療現場からの安全管理レポートは非常に貴重な病院の財産です。医療安全管理部は、各職種・各診療科の架け橋となっており、多職種多診療科が話し合う合同カンファレンス、一つ一つの医療の品質（＝安全性）を向上させるためのトレーニングシステムや講習会を定期的に企画し、医療の品質をより高いものにしていきます。また全国国立大学附属病院医療安全管理協議会の会長校として、① Patient safetyを計測するシステムの全国標準化、② 患者・家族の医療安全への参加指針、③ 高難度新規医療技術の定義拡大とその研修制度、④ 外来、地域、在宅医療におけるAIを用いたMaaS (Medical as a service) の確立を目標としています。

## 膠原病・リウマチ内科、 膠原病・リウマチ先端医療センター

### 保田 晋助

教授・科長・センター長



膠原病・リウマチ内科では多種多様な自己免疫疾患の診断および分子標的薬などを用いた最先端の治療を行っています。関節リウマチに対する生物学的製剤の効果はめざましい反面、高い薬価や日見感染症が問題となります。当科では個々の患者さんにあった治療法を選択して、慢性疾患と付き合う中でより良い生活を送っていただけるよう努めています。整形外科・リハビリテーション部・小児科および膠原病・リウマチ科の4科で構成している膠原病・リウマチ先端医療センターでは、小児から大人まで、また必要な患者さんには手術・リハビリを含めた診療を提供しています。病気の進行度やライフステージ・ライフスタイルにあわせた診療を途切れなく行えるよう心がけています。お気軽にご相談ください。



#### 食道外科

### 徳永 正則

科長・准教授



食道疾患、特に食道がんの治療を担当しています。手術が必要な患者さんに対しては、低侵襲手術（ロボットおよび胸腔鏡）を積極的に行っており、当科ではロボット手術を保険診療として行うことができます。また、早期食道がんに対しては内視鏡治療、より進行した食道がんに対しては化学療法・放射線療法を含む集学的治療を行うことで、機能温存・予後改善の両立を目指した取り組みを行っています。とくに、喉頭温存（声の温存）には力を入れており、内視鏡治療のエキスパート、外科治療のエキスパートが揃っています。機能温存が難しい、根治治療が難しいといわれた場合も、食道がん治療の最後の砦として治療にあたりますので遠慮なくご相談ください。（胃がん・食道がん治療の詳細は7ページをご覧ください）

#### 放射線部

### 立石 宇貴秀

部長・教授・病院長補佐

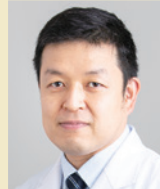


放射線部は中央診療施設の一つとして単純X線撮影・消化管造影検査・CT・MRI・心カテ・IVRなどの画像検査を、核医学部門ではSPECT・PET/CTなどの核医学検査を、放射線治療部門では悪性腫瘍などに対する放射線治療の業務を施行しています。CT・MRI・核医学検査、IVRでは放射線科専門医による読影がなされ、診断結果が病院システム上に配信されています。歯学部附属病院の画像検査の一部も対応しています。放射線部は最新の装置、高度な技術を駆使し、医師、診療放射線技師、看護師等スタッフがチーム医療を実践し、患者さんが安心して安全に検査や治療を受けていただく心がけて診療を行っています。

#### 血液浄化療法部

### 内藤 省太郎

部長・准教授



血液浄化療法は、血中から人体に有害な物質（尿素、アンモニア、免疫複合体、過剰リポ蛋白、エンドトキシン等）を体外へ除去し、重篤な病態の改善を図る治療法です。最も多く行なっている治療は、末期腎不全や急性腎障害に対する透析療法です。その他には、自己免疫疾患（神経疾患、膠原病、炎症性腸疾患など）に対するアフェレーシス療法（血漿交換療法、血漿吸着療法、顆粒球吸着除去療法）が挙げられます。このように血液浄化療法は、様々な診療科領域の疾患の治療に用いられるため、患者さんの診療科主治医と綿密に連絡を取り治療にあたりております。我々は血液浄化療法のスペシャリストとして、医師、臨床工学技士、看護師が一丸となって、患者さんが安心して治療を受けられるよう、日々取り組んでまいります。

#### 臨床栄養部

### 井津井 康浩

部長・講師



臨床栄養部のモットーは「食を通じて治療を支え、外来や入院生活のQOL向上を図ります」です。入院生活では検査や治療に向き合う必要があり、食から得られる栄養はそれらを支える土台となります。そして、食事はひとときの安らぎを提供するものでもあり、季節の食材や行事食などを取り入れるなど工夫し、患者さんから好評を得ています（当院自慢のメニューは病院のホームページを是非ご覧ください）。多職種による栄養サポートチームは「治療としての栄養」を実践し、さらに歯科医による口腔内評価も提供しており、まさに「医科歯科」ならではのチームです。集中治療分野では早期回復のための栄養管理を行い、化学療法室においてはがん専門の管理栄養士が栄養面で支えています。また、栄養管理を継続できるよう栄養相談や栄養教室などで「食」を通じて、直接的・間接的に疾患治療を支え、患者様のQOL向上に寄与できるよう日々活動しています。

#### 看護部

### 浅香 えみ子

部長・病院長補佐



高度先進医療の成果を患者さんの生活の質向上につなげるために、治療過程の全体を通して、患者さんとそのご家族の意思を尊重しつつ、生活機能再獲得を目指したケアを提供しています。個々の患者さんに合わせた科学的根拠に基づく看護によって早期社会復帰を目指すとともに、最後までその人らしさを守ることを大切にしています。医療チームの一員として責任を持ち、創造性豊かな思いやりのある看護をポリシーに、「できない」ではなく「どうしたらできるのか」と考え抜いた看護によって、任せてよかったと思っただけのよう東京医科歯科大学の医療をコーディネートしてまいります。

#### 消化器内科

### 岡本 隆一

科長・教授



消化器内科では消化管・肝臓・膵臓・胆のうなどの幅広い臓器の病気の診療を行っています。特に炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病）、肝疾患（肝炎・肝がん）については専門外来を開設し、各々の病気に精通し経験豊富な医師が診療を担当しています。炎症性腸疾患の診療ではMRIや小腸内視鏡による独自の方法も使って病気の状態を調べ、治験を含めた幅広い選択肢の中から一人一人の患者さんに合った治療法を提案しています。肝疾患についても、造影エコー検査やラジオ波凝固療法などの診断・治療技術を組み合わせ、負担の少ない診断・治療に取り組んでいます。消化管・肝臓などの病気でお困りの際は、お気軽にご相談下さい。

## 新設センター・外来等ご紹介

### ベッドコントロールセンター



若林 健二 (病院長補佐/ベッドコントロールセンター長)

ベッドコントロールセンターは、予定入院患者さんの病床確保と転入・転出時の病棟間の調整を、各病棟や各診療科と連携して行なう部署として新設されました。病床の有効活用を行なうことで、より多くの患者さんに満足した形で当院での医療を提供できるようにお手伝いさせていただきます。設立されたばかりの部署ではございますが、4名のセンター員で協力して尽力させていただき、皆様のお役に立てるように頑張りたいと思います。



### 新型コロナウイルス対策室



植木 穰 (病院長補佐/新型コロナウイルス対策室室長)

医病新型コロナウイルス対策室は、当院の新型コロナウイルス対応の本格化に合わせ、2020年4月13日、多職種のメンバーを集めて設置されました。

情報の一元管理を行うことで、職員の皆様の不安感を払拭し、業務の効率化を図ることを通じて、職員の皆様が協調して前向きに継続的にコロナウイルスに立ち向かっていけるような体制(ALL-TMDU体制)を構築することを目指して活動しております。

我々の活動が「患者さんと職員を守る」という大切な理念の実現に一役買えるよう、室員一同努力して参りますので、宜しくお願いいたします。



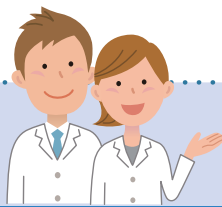
### 3号館コロナ肺炎外来



山田 徹 (総合診療科講師)

7月6日より3号館コロナ肺炎外来の運用を開始いたしました。COVID-19パンデミックに伴い4月6日からテント診療が開始され、5月からスタートした歯学部肺炎外来を經由して何とかここまでたどり着くことができました。当外来はCOVID-19肺炎疑いの紹介患者さん、当院かかりつけの発熱患者さんが主な対象になります。COVID-19診療と通常診療の両立がスムーズにできるよう、運用面でもさらなる改善を続けていく予定です。受診をご希望の場合、まずは近隣のかかりつけ医を受診して診断報告書(紹介状)をご用意ください。





## 治療内容をご紹介します

### 胃がん

三大疾患の一つに数えられる「がん」の中でも1、2を争うほど多い疾患です。近年減少傾向にはありますが依然その数は多く、がん死亡率でも肺、大腸に次いで3番目を占める重要な疾患です。男性に多く、ピロリ菌感染、塩分摂取、タバコがリスクと言われています。東京医科歯科大学胃外科では①正確な診断と治療、②最新の器械を用いた手術、③患者さんに応じた最良の手術、④エビデンスに基づいた治療、⑤きめ細かな術後のフォローで早期胃がんから進行胃がんまで、一人一人の患者さんにベストの治療を提供します。

胃がんの腹腔鏡手術は従来の開腹手術と比較して難易度が高く専門医の知識と技術を要する高度な治療です。当院胃外科は今までに1000例以上の腹腔鏡下胃切除術を実施しており、専門医を中心としたチーム医療で安全で侵襲の少ない治療を目指しております。



「胃がんのパンフレット」  
をご覧ください。

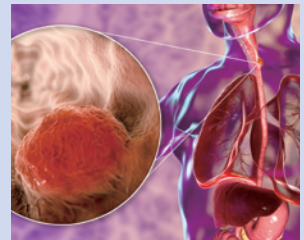


### 食道がん

食道がんは食道の粘膜に発生するがんで、早期では症状がなく、進行すると食事のつかえや胸痛などの症状がでるため、症状のないうちに発見するためには、定期的な検査を受けることが重要です。特に習慣的に飲酒・喫煙をする方はリスクが高く注意が必要です。

進行すると大動脈や気管、心臓など近くの臓器に直接広がり（浸潤）、リンパ節や肝臓、肺など離れた臓器に広がる（転移）ことがあります。

食道外科では①正確な診断と治療、②最新の器械を用いた手術、③機能を温存した手術、④化学療法、放射線、手術を組み合わせた集学的治療、⑤きめ細かな術後のフォローを提供いたします。機能温存が難しい、根治治療が難しいなどと言われても、私どもは食道がん治療の最後の砦として治療に当たりますので、あきらめないでご相談ください！



「食道がんのパンフレット」  
をご覧ください。



### 認定看護師のご紹介 「感染管理分野」

(写真左から) 千葉 尚子、小野 和代、渡邊 由香



私達、3名の感染管理認定看護師は、それぞれの立場で院内外の感染制御活動に携わっています。そんな中で、未曾有の「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応」に臨み、未知の感染症で先が見えない中、大学一丸となって取り組みました。基礎系から臨床まで、職

種横断的に力を結集し、提供し続けた医療は当大学の誇りです。感染制御は、平時からの基本的対策の徹底が基盤です。またそれと同時に、現在の医療提供体制を鑑み、自施設のみならず、地域を視野に入れた感染制御の取組みが重要です。情報共有、感染対策の協力・連携・支援、人材育成等、地域の施設の方々と力を合わせて継続的に取り組む必要があります。そして、医療従事者だけでなく、患者さんを含めた一般の方々にも感染症の伝播リスクや特殊性に関して理解を深めていただく「リスクコミュニケーション強化」を図っていきたいと思います。



### 救命救急センター のご紹介



当院救命救急センターは「Withコロナ時代」に適応し、重症新型コロナウイルス感染症に対する救命救急診療とともに、一般患者さん向けの救命救急センターとしての責務を果たしています。





## 「すぐ帰れる」サービス

「診療が終わったら会計を待たずにすぐに帰りたい!」という方は、クレジットカードとスマートフォン(パソコン、タブレットでも可)があればすぐに登録でき、その日の外来支払から利用できる「すぐ帰れる」サービスをご利用ください。QRコードを読み取り、必要事項を登録すれば完了です。登録した患者さんは、1階の会計以外の保険証確認窓口(2・3・4階エスカレーター脇)でも計算受付ができ、そのまま帰宅することができます。是非ご利用ください。



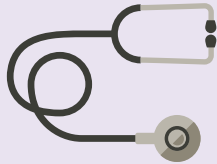
## 全診療科における完全紹介制の導入について

当院では全診療科において、完全紹介制とさせていただきます。当院に初めておかけの場合、新たな診療科におかけの場合、前回の来院より3ヶ月以上経過している場合は、原則として他の医療機関からの紹介状(診療情報提供書)が必要となります。

《例》他の医療機関からの紹介状(診療情報提供書)が必要になるのは…

- ・ある科を受診中の方で、別の診療科を初めて受診したい場合
- ・過去に受診した診療科でも、自己判断により3ヶ月以上受診がない場合

完全紹介制を導入した経緯は、専門的な診療を提供する大学病院としての使命と役割を果たすためですので、ご理解・ご協力をお願いいたします。



## 献体のご紹介

献体とは、医学・歯学の大学における解剖学の教育・研究に役立たせるため、自分の遺体を無条件・無報酬で提供することをいいます。自分の死後、遺体を医学・歯学のために役立てたいと志した方は、まず最初に生前から献体したい大学や団体に名前を登録しておく必要があります。献体に関するお問い合わせは、下記をお願いいたします。

### ■ お問い合わせ先

東京医科歯科大学献体の会事務局  
TEL : 03-5803-5147



## セカンドオピニオン外来とは

セカンドオピニオン外来は、当院以外の医療機関に通院している患者さんを対象に、診断内容や治療法に関して、意見・判断を提供し、今後の治療の参考にしていただくことを目的としています。ご希望の方は、まず現在の主治医と相談の上、セカンドオピニオン外来にお申込みください。通常の外来受診とは異なりますのでご注意ください。

なお、当院での診療内容に関して、他院でのセカンドオピニオンを希望される方は、診療情報提供書や資料を用意いたしますので、担当医にお申し出ください。

### ■ お問い合わせ先

セカンドオピニオン外来  
TEL : 03-5803-4568 平日9:00~16:00

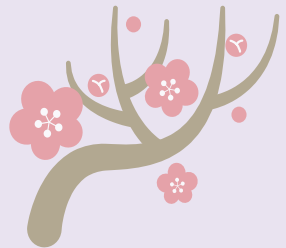


## 梅いち輪募金にご協力ください

梅いち輪募金(東京医科歯科大学医学部附属病院支援基金)は、患者さんから寄せられるサービス改善のご要望を、できることから実現するために活用させていただき基金です。一口1000円からお申込みいただけます。詳しいことは下記までお問い合わせください。

### ■ お問い合わせ先

東京医科歯科大学募金室  
TEL : 03-5803-5068  
Email : bokin.adm@tmd.ac.jp



## 新型コロナウイルス感染症対策基金のお願い

### 新型コロナウイルス感染症対策基金にご協力ください

東京医科歯科大学は2つの基本理念で、新型コロナウイルス感染症に正面から取り組んでいます。

- 東京医科歯科大学では「医学部附属病院における新型コロナウイルス感染重症・中等症陽性患者の受入体制の構築」を、最優先事項に位置付け、全学的な支援を行っております。
- ポスト新型コロナウイルス感染症の社会に備えた医療体制を整えます。ご理解、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



医科歯科コロナ対策HP



基金HP